

神戸市統計報告 速報版(平成14年度 第2号)

平成12年国勢調査結果 人口移動集計(その1)結果(概要)

平成12年10月1日現在で実施された「平成12年国勢調査」の人口移動集計(その1)結果が、このほど総務省統計局より公表されましたので、神戸市関係分の概要をお知らせします。詳細については、平成14年7月刊行予定の「神戸市統計報告」で報告します。

平成12年国勢調査では、5年前に居住していた場所(常住地)の調査が行われたが、今回公表されたのは、その集計結果である。その5年前の平成7年10月1日には平成7年国勢調査が行われており、同調査では、神戸市の人口は1,423,792人で、震災直前(平成7年1月1日)の推計人口1,520,365人と比べ96,573人減少しており、震災の影響が表れたものとなっていた。その後、震災復興が進み、平成12年国勢調査では、1,493,398人と人口回復状況が明らかとなった。

平成7年10月1日時点では、震災のため仮設住宅等に入居していた市民も多くいた。今回の集計結果で、市民がその時点で居住していた場所が明らかとされたことにより、人口回復過程での人口の動きの一端がうかがえるものとなっている。

結果の概要

- ・平成12年国勢調査時の神戸市の「移動人口」は543,486人で、「移動率」は38.1%であり、全国の移動率28.1%を大きく上回った。
- ・移動人口の内訳は、自区内での移動が235,444人と最も高く、5歳以上人口(1,427,590人)の16.5%を占め、人数、割合ともに平成2年国勢調査時(132,729人、9.5%)を大きく上回った。
- ・移動人口のうち市外からの転入は、平成2年と比べ、阪神間6市からの転入者が32,097人(市外からの転入者全体に占める割合17.9%)から24,212人(同13.6%)と減少が目立つ。
- ・区別では、灘区50.8%、東灘区50.0%、中央区46.1%など、震災の被害の大きかった区での移動率が高い数値を示している。
- ・神戸市内での区間移動では、北区や西区から既成市街地への転入が増加している。

移動人口：5年前に現住所以外の場所に住んでいた者の数

移動率：5歳以上人口のうち移動人口の占める割合

表1 5年前の常住地別 5歳以上人口(平成12年調査結果)

区	総数	現住所	現住所以外(移動人口)						
			総数	目市内で移動		県内他市区町村から転入	他県から転入	国外から転入	
				目区内で移動	市内他区から転入				
全市	1,427,590	884,078	543,486	366,080	235,444	130,636	66,198	103,944	7,264
東灘区	181,662	90,896	90,761	49,588	36,060	13,528	12,198	26,747	2,228
灘区	115,709	56,886	58,821	38,553	23,979	14,574	5,902	13,581	785
中央区	104,501	56,297	48,200	33,160	21,707	11,453	4,503	9,130	1,407
兵庫区	103,122	60,601	42,521	33,663	21,447	12,216	3,432	5,086	340
北区	214,697	153,196	61,499	40,128	27,698	12,430	9,757	11,095	519
長田区	101,207	61,914	39,293	31,685	19,688	11,997	3,072	4,297	239
須磨区	166,896	114,258	52,633	37,966	22,390	15,576	4,974	9,229	464
垂水区	215,894	148,975	66,917	46,818	32,725	14,093	7,938	11,583	578
西区	223,902	141,055	82,841	54,519	29,750	24,769	14,422	13,196	704

1) 5年前の常住地「不詳」を含む。

1 人口移動状況

- 移動率は全国値を大きく上回る38.1% -

- ・平成7年国勢調査期日にまだ生まれていなかった人を除く5歳以上の神戸市人口(1,427,590人)のうち、5年前に現住所以外の場所に住んでいた人(移動人口)は543,486人で、5歳以上人口に占める割合(移動率)は38.1%となっている。これを同じ調査を行った平成2年国勢調査結果()と比べると、移動人口で118,156人増加、移動率は7.5ポイント上昇している。
- ・全国の移動率も、平成2年の25.3%から28.1%へ2.8ポイント上昇しているが、神戸市の移動率は、全国値を10ポイント上回っており、その伸びも大きく、震災の影響が顕著に表れている。
- ・移動人口を5年前の常住地別に見ると、自区内が235,444人(5歳以上人口に占める割合16.5%)と最も高く、市内他区130,636人(同9.2%)、他県103,944人(同7.3%)と、続いている。
- ・平成2年と比べると、自市内、特に自区内の伸びが目立っており、人数では102,715人増(77.4%増)、割合も9.5%から16.5%の7ポイント増と大幅に上昇している。一方、市外からの転入者は、人数、割合とも大きな変化はない。

平成2年は、北区、西区などの周辺地域でニュータウンの開発など住宅の供給が進み、これらの地域での人口の伸びが著しい時期であった。

図1 5年前の常住地別5歳以上人口(構成比)

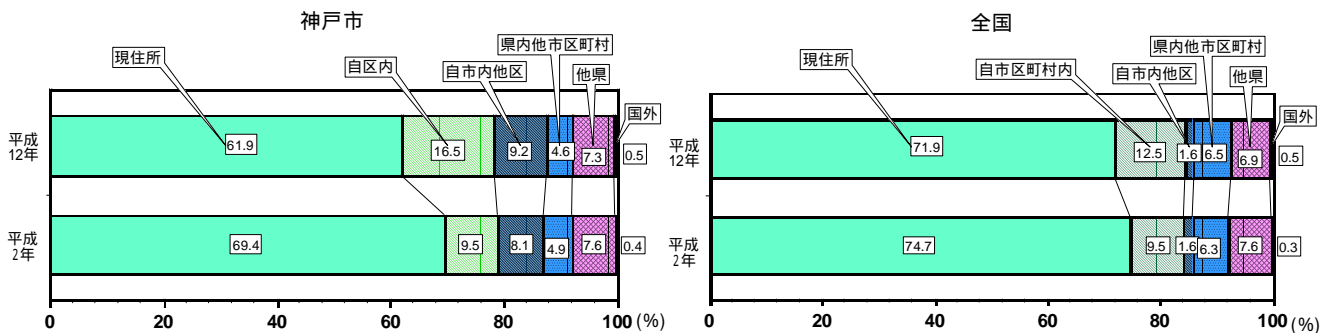


表2 5年前の常住地別5歳以上人口

5年前の常住地	神戸市				全国			
	平成12年調査結果		平成2年調査結果		平成12年調査結果		平成2年調査結果	
	人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比
総数 1)	1,427,590	100.0	1,392,087	100.0	120,793,184	100.0	116,791,913	100.0
現住所	884,078	61.9	966,348	69.4	86,819,021	71.9	87,266,001	74.7
現住所以外(移動人口)	543,486	38.1	425,330	30.6	33,973,151	28.1	29,507,115	25.3
自市内 2)	366,080	25.6	246,071	17.7	17,102,933	14.2	12,918,597	11.1
自区内 3)	235,444	16.5	132,729	9.5	15,136,823	12.5	11,073,095	9.5
自市内他区	130,636	9.2	113,342	8.1	1,966,110	1.6	1,845,502	1.6
市外からの転入	177,406	12.4	179,259	12.9	16,870,218	14.0	16,588,518	14.2
県内他市区町村から	66,198	4.6	68,307	4.9	7,857,604	6.5	7,307,004	6.3
他県から	103,944	7.3	105,581	7.6	8,389,386	6.9	8,889,160	7.6
国外から	7,264	0.5	5,371	0.4	623,228	0.5	392,354	0.3

1) 5年前の常住地「不詳」を含む。
 2) 全国は自市区町村内と自市内他区の合計である。
 3) 全国は自市区町村内である。

2 市外からの転入の状況

- 阪神間6市からの転入割合が低下 -

- ・ 移動人口のうち市外からの転入は、177,406人（5歳以上人口に占める割合12.4%）で、平成2年の179,259人（同12.9%）と比べ、人数、割合ともわずかに減少しているが、ほぼ同じである。
- ・ 5年前の常住地別にその内訳を見ると、東日本31,972人（市外からの転入者全体に占める割合18.0%）、大阪府31,679人（同17.9%）、西日本27,785人（同15.7%）、阪神間6市24,212人（同13.6%）と続いている。
- ・ 平成2年と対比すれば、阪神間6市からの転入が、32,097人（同17.9%）から24,212人（同13.6%）と、大きく減少している。一方、増加が目立つのは東播磨海部からの転入で、19,730人（同11.0%）から23,786人（同13.4%）となっている。全体の構成比を見れば、阪神間6市及び東播磨海部以外は、大きな変化はない。

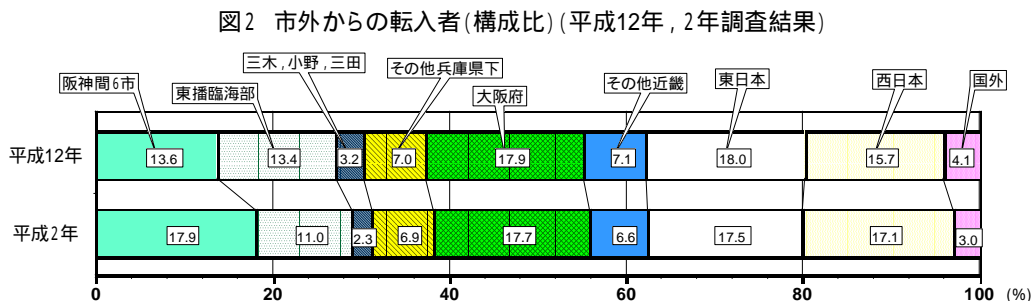


表3 市外からの転入者（平成12年，2年調査結果）

5年前の常住地	平成12年調査結果		平成2年調査結果	
	転入者	構成比 (%)	転入者	構成比 (%)
総数	177,406	100.0	179,259	100.0
近畿	110,385	62.2	111,831	62.4
兵庫県下（近隣地）	53,732	30.3	55,944	31.2
阪神間6市a)	24,212	13.6	32,097	17.9
うち西宮市	9,323	5.3	13,193	7.4
東播磨海部b)	23,786	13.4	19,730	11.0
うち明石市	15,524	8.8	14,625	8.2
三木, 小野, 三田	5,734	3.2	4,117	2.3
兵庫県下（近隣地以外）	12,466	7.0	12,363	6.9
大阪府	31,679	17.9	31,718	17.7
その他近畿	12,508	7.1	11,806	6.6
東日本	31,972	18.0	31,443	17.5
北海道, 東北	2,407	1.4	2,370	1.3
関東	18,989	10.7	19,116	10.7
中部	10,576	6.0	9,957	5.6
西日本	27,785	15.7	30,614	17.1
中国	12,143	6.8	13,045	7.3
四国	6,923	3.9	7,567	4.2
九州	8,719	4.9	10,002	5.6
国外	7,264	4.1	5,371	3.0

a) 尼崎市, 西宮市, 芦屋市, 伊丹市, 宝塚市, 川西市

b) 明石市, 加古川市, 高砂市, 稲美町, 播磨町

3 区別の状況

- 灘区など既成市街地の移動率が高い -

- ・ 5年前の常住地について区別に平成2年と対比すれば、移動人口は垂水区以外の全区で増加している。また、移動率は北区，垂水区，西区以外の区で上昇している。
- ・ 移動人口が最も多いのは東灘区の90,761人で、西区82,841人，垂水区66,917人と続いている。
- ・ 移動率が最も高いのは灘区の50.8%で、東灘区50.0%，中央区46.1%，兵庫区41.2%，長田区38.8%と、既成市街地の区が高い数値を示している。これらの区は、平成2年と比べ移動率の伸びも大きく、灘区の21.1ポイント上昇を筆頭に、全て15ポイント以上上昇している。
- ・ 移動人口の内訳を見ると、自区内での移動が全区で増加している。自区内での移動の5歳以上人口に占める割合も全区で上昇しており、特に灘区，中央区，兵庫区は10ポイント以上上昇している。(図3-1，図3-2)
- ・ 市内他区からの転入者については、北区，須磨区，垂水区を除き増加している。
- ・ 以上のとおり、震災の被害の大きかった東灘区，灘区，中央区，兵庫区，長田区では、移動率の大幅な上昇など、震災の影響が表れたものとなっている。移動人口の内訳では、これらの区は自区内での移動が大きな割合を占め、市内他区からの移動も高い割合となっている。震災後、震災の被害の大きかった区を中心に、住宅の供給が進み、市民らがこれらの住宅に移ってきた状況がうかがえる。(なお、須磨区も震災の被害が大きかったが、被害が少なかった北須磨地区を含んだデータとなっているため、以上の区ほど顕著な傾向を示していない。)

表4 5年前の常住地別 5歳以上人口(平成12年，2年調査結果)

5年前の常住地	東灘区	灘区	中央区	兵庫区	北区	長田区	須磨区	垂水区	西区
平成12年調査結果									
総数 1)	181,662	115,709	104,501	103,122	214,697	101,207	166,896	215,894	223,902
現住所	90,896	56,886	56,297	60,601	153,196	61,914	114,258	148,975	141,055
現住所以外(移動人口)	90,761	58,821	48,200	42,521	61,499	39,293	52,633	66,917	82,841
自区内で移動	36,060	23,979	21,707	21,447	27,698	19,688	22,390	32,725	29,750
市内他区から転入	13,528	14,574	11,453	12,216	12,430	11,997	15,576	14,093	24,769
県内他市区町村から転入	12,198	5,902	4,503	3,432	9,757	3,072	4,974	7,938	14,422
他県から転入	26,747	13,581	9,130	5,086	11,095	4,297	9,229	11,583	13,196
国外から転入	2,228	785	1,407	340	519	239	464	578	704
移動率 2)	50.0 (15.2)	50.8 (21.1)	46.1 (15.9)	41.2 (17.8)	28.6 (2.1)	38.8 (17.5)	31.5 (4.3)	31.0 (1.0)	37.0 (5.0)
平成2年調査結果									
総数 1)	179,291	123,003	109,410	118,565	187,240	130,664	176,936	219,258	147,720
現住所	116,842	86,401	76,311	90,756	129,759	102,854	128,724	149,096	85,605
現住所以外(移動人口)	62,396	36,555	33,035	27,749	57,418	27,792	48,189	70,119	62,077
自区内で移動	18,997	12,797	10,984	12,666	16,706	13,448	14,064	24,662	8,405
市内他区から転入	9,266	7,588	7,948	7,636	13,717	8,185	17,040	17,285	24,677
県内他市区町村から転入	10,870	4,339	4,146	2,578	11,036	2,168	5,738	11,336	16,096
他県から転入	21,954	11,175	8,755	4,674	15,443	3,786	10,958	16,234	12,602
国外から転入	1,309	656	1,202	195	516	205	389	602	297
移動率	34.8	29.7	30.2	23.4	30.7	21.3	27.2	32.0	42.0

1) 5年前の常住地「不詳」を含む。

2) ()内は平成2年調査結果との差である。

図3 - 1 区別5年前の常住地別5歳以上人口(構成比)(平成12年調査結果)

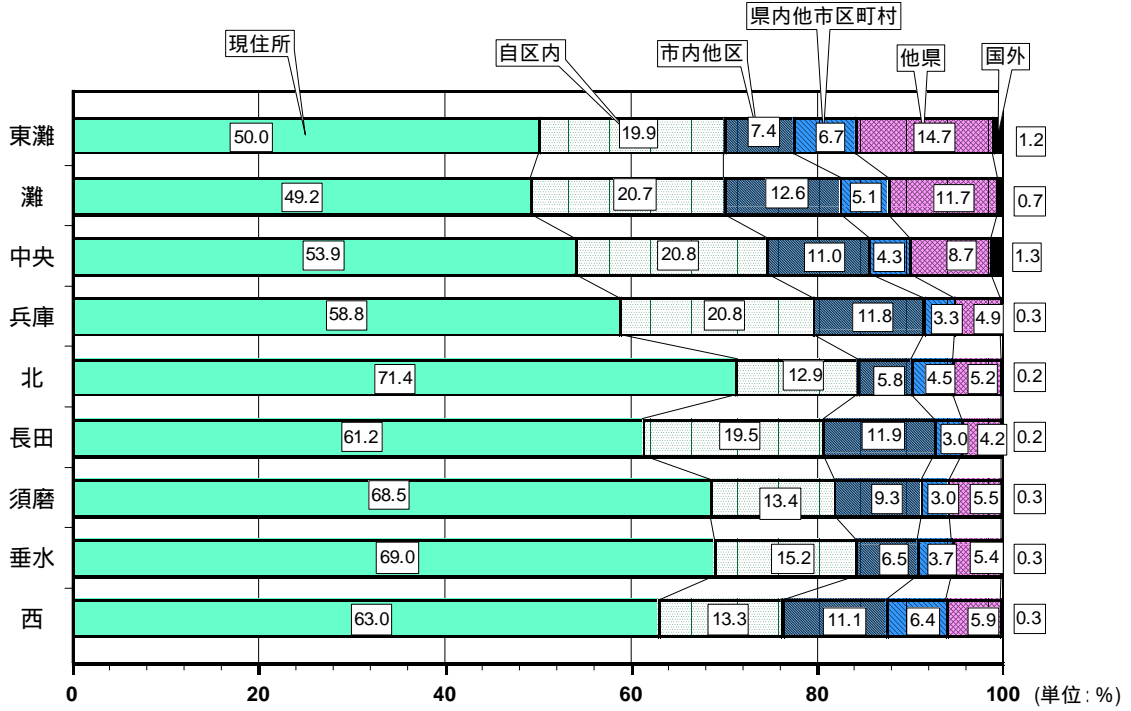
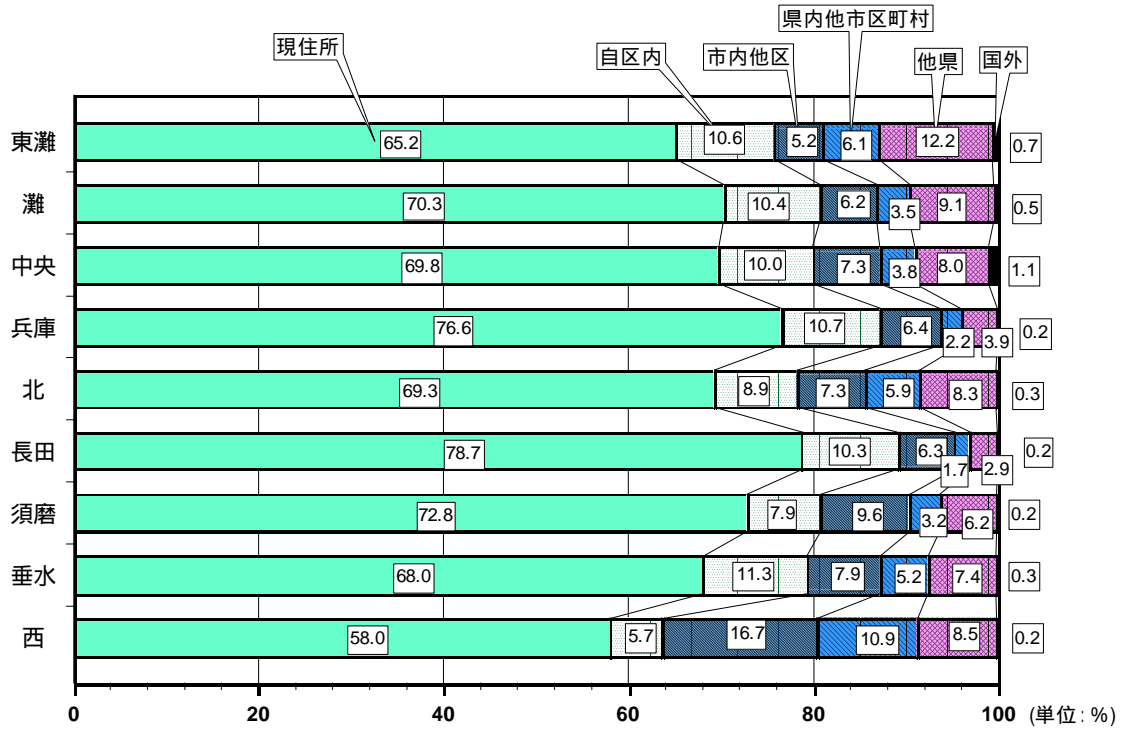


図3 - 2 区別5年前の常住地別5歳以上人口(構成比)(平成2年調査結果)



4 区別区間移動の状況

- 北区，西区から既成市街地への転入者が増加 -

- ・各区とも自区内での移動割合の上昇が目立ったが，市内他区からの転入の割合も上昇している。そこで区間の移動の状況を見る。
- ・どの区においても隣接する区からの転入者が多い。自区内での移動が多いことも考え合わせると，近場での移動が多いことがわかる。
- ・他区からの転入の構成比を平成2年と比べると，全ての区で北区と西区からの転入の割合が上昇している。これは，震災後北区や西区の仮設住宅等に入居していた市民が震災復興に伴い既成市街地へ戻ってきたことなどによるものと考えられる。

表5 区別5歳以上区間移動人口（平成12年調査結果）

区	他区からの転入									
	総数	東灘区から	灘区から	中央区から	兵庫区から	北区から	長田区から	須磨区から	垂水区から	西区から
転入者（平成12年調査結果）										
東灘区	13,528	-	3,946	2,070	820	1,953	665	1,324	1,571	1,179
灘区	14,574	4,602	-	3,586	811	1,721	573	1,004	1,287	990
中央区	11,453	1,474	2,390	-	1,943	1,597	868	1,056	1,105	1,020
兵庫区	12,216	560	590	2,301	-	1,743	2,707	1,638	1,478	1,199
北区	12,430	1,545	1,384	1,468	1,799	-	1,463	1,687	1,530	1,554
長田区	11,997	414	290	991	2,386	1,304	-	3,249	1,735	1,628
須磨区	15,576	689	661	1,122	1,632	1,529	3,644	-	3,676	2,623
垂水区	14,093	853	836	1,117	1,447	1,272	1,832	3,592	-	3,144
西区	24,769	1,259	909	1,273	1,609	2,414	2,405	6,450	8,450	-
構成比（平成12年調査結果）										
東灘区	100.0	-	29.2	15.3	6.1	14.4	4.9	9.8	11.6	8.7
灘区	100.0	31.6	-	24.6	5.6	11.8	3.9	6.9	8.8	6.8
中央区	100.0	12.9	20.9	-	17.0	13.9	7.6	9.2	9.6	8.9
兵庫区	100.0	4.6	4.8	18.8	-	14.3	22.2	13.4	12.1	9.8
北区	100.0	12.4	11.1	11.8	14.5	-	11.8	13.6	12.3	12.5
長田区	100.0	3.5	2.4	8.3	19.9	10.9	-	27.1	14.5	13.6
須磨区	100.0	4.4	4.2	7.2	10.5	9.8	23.4	-	23.6	16.8
垂水区	100.0	6.1	5.9	7.9	10.3	9.0	13.0	25.5	-	22.3
西区	100.0	5.1	3.7	5.1	6.5	9.7	9.7	26.0	34.1	-
転入者（平成2年調査結果）										
東灘区	9,266	-	3,221	1,742	711	882	611	797	1,093	209
灘区	7,588	2,272	-	2,279	531	654	415	593	697	147
中央区	7,948	1,267	1,694	-	1,398	856	836	786	858	253
兵庫区	7,636	441	522	1,662	-	857	2,104	954	831	265
北区	13,717	2,388	1,907	2,088	2,206	-	1,584	1,443	1,447	654
長田区	8,185	429	484	921	2,315	783	-	2,103	934	216
須磨区	17,040	1,547	1,484	1,778	2,217	1,499	4,516	-	3,406	593
垂水区	17,285	2,149	1,785	1,807	1,944	1,403	2,590	4,448	-	1,159
西区	24,677	2,052	1,358	1,327	1,539	2,300	2,079	6,238	7,784	-
構成比（平成2年調査結果）										
東灘区	100.0	-	34.8	18.8	7.7	9.5	6.6	8.6	11.8	2.3
灘区	100.0	29.9	-	30.0	7.0	8.6	5.5	7.8	9.2	1.9
中央区	100.0	15.9	21.3	-	17.6	10.8	10.5	9.9	10.8	3.2
兵庫区	100.0	5.8	6.8	21.8	-	11.2	27.6	12.5	10.9	3.5
北区	100.0	17.4	13.9	15.2	16.1	-	11.5	10.5	10.5	4.8
長田区	100.0	5.2	5.9	11.3	28.3	9.6	-	25.7	11.4	2.6
須磨区	100.0	9.1	8.7	10.4	13.0	8.8	26.5	-	20.0	3.5
垂水区	100.0	12.4	10.3	10.5	11.2	8.1	15.0	25.7	-	6.7
西区	100.0	8.3	5.5	5.4	6.2	9.3	8.4	25.3	31.5	-

注) 網掛け部分は，両調査を比べ，高い数値を示している部分を表す。

(参考) 神戸市の人口の推移

区	S60.10.1	H2.10.1	H7.1.1	H7.10.1	H12.10.1	H14.4.1	震災直前(a)との比較	
	60年国勢調査	2年国勢調査	震災直前推計	7年国勢調査	12年国勢調査	推計人口	増減(b-a)	回復率(b/a) (%)
			(a)			(b)		
全 市	1,410,834	1,477,410	1,520,365	1,423,792	1,493,398	1,503,778	16,587	98.9
東 灘 区	184,734	190,354	191,716	157,599	191,309	197,114	5,398	102.8
灘 区	133,745	129,578	124,538	97,473	120,518	123,311	1,227	99.0
中 央 区	119,163	116,279	111,195	103,711	107,982	110,403	792	99.3
兵 庫 区	130,429	123,919	117,558	98,856	106,897	107,324	10,234	91.3
北 区	177,221	198,443	217,166	230,473	225,184	224,541	7,375	103.4
長 田 区	148,590	136,884	129,978	96,807	105,464	104,628	25,350	80.5
須 磨 区	181,966	188,119	188,949	176,507	174,056	173,676	15,273	91.9
垂 水 区	224,212	235,254	237,735	240,203	226,230	224,802	12,933	94.6
西 区	110,774	158,580	201,530	222,163	235,758	237,979	36,449	118.1

(注) 「推計人口」とは、直近国勢調査結果を基礎に、毎月の住民基本台帳及び外国人登録の届出数を加減し算出したものである。